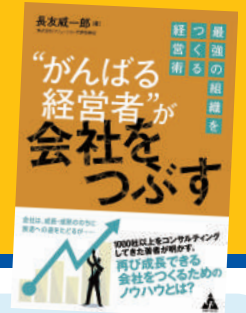




『“がんばる経営者” が会社をつぶす』 出版記念セミナーレポート

in 紀伊國屋@新宿本店
ジュンク堂@難波店



「もっと活気のある会社になりたい」「1人1人の力はあるのに、組織となるとどうも力が発揮されない」「協力し合えば、もっと力が出せるはず!」・・・等、日々会社や社員様と向き合う中で、そんなお気持ちになることはないでしょうか？
今回は、代表の長友が『“がんばる経営者” が会社をつぶす』の出版を記念し、紀伊國屋書店様、ジュンク堂書店様に機会をいただいて、社員様が強みを活かしながらいきいきと働ける会社づくりのポイントについてお話させていただきました。

まずは相互理解をし、“関係の質”を高めることから。ポイントはコミュニケーションをとる前に相手への「諦めの壁」を払拭すること。そして、結果や行動の“理由”や“背景”に目を向けること。

社員が力を発揮し、協力し合える組織にするためにまず大切なのは、「互いのことをよく知る」ことであり、経営者であれば、社員のことをよく見ることです。何が好きなのか？何が得意なのか？弱みはどこか？言われて嬉しいことは何か？嫌なことは何か？等、それを知らずに仕事を任せると、社員はなかなか力を発揮することもできませんし、自主的に仕事をしようとすることもありません。「経営者様の中には、社員様のこと、幹部の方のことを知らずに仕事を任せて『あいつらはだめだ』『わかっていない』と言う方がいらっしゃいますが、『それは社長が社員様の強みや特性を知らないからじゃないですか？』と私はお伝えしています。」と長友からはお話させていただきました。

そうすると「じゃあ、飲みに行ったらいいですか？」と言われる方も多いようですが、もし社長が「こいつは前にこういう失敗をしたから」とか「こういう性格だから」と、過去の経験や出来事からその社員様についてレッテルを貼っているとしたら、いくらコミュニケーションをとっても意味はありません。多くの場合、社員様は社長にレッテルを貼られていると感じ取っているからです。「だからこそ、社員様の強みや弱みを把握したい、関係性をよくしたいと思ったら、まずは行動より社員様への“諦めの壁”を取り払ってください。冷静に、その方の今に向き合い『強みはどこか？』『3年後、5年後にどうなってもらいたいのか？』を考えたいので、コミュニケーションをとらなければ、いつまで経っても社員様との距離は縮まらず、その方が力を発揮したり、会社に対して『貢献したい』という気持ちになったりすることはありません。」ここは、長友からの強いメッセージとしてお話させていただきました。

そして、いざ“諦めの壁”を取り払い、コミュニケーションをとる際には、社員様の目に見える結果や行動だけではなく、「なぜそういう結果が出たのか?」「なぜそういう行動をしているのか?」という目に見えない部分にも目を向けることが重要です。目に見える結果や行動だけで相手の考えを決めつけてはいけません。育てる側の人間としては、目に見えない水面下の部分にも目を向けてコミュニケーションをとることで「自分のことを見てくれている」と社員様に思ってもらうことができ、初めて関係の質を高められます。社員様が本音や自らの考えを話してくれるようになれば、こちらも本来の強みや特性がわかり、彼らに合った仕事を渡し、彼らを活かすことができるようになるのです。



関係の質の向上=対話力の向上



社員様が力を発揮して自ら考え行動できるように、経営者は正解を用意するのではなく、“軸”を明確にして伝えましょう。

長友からは「社員様を活かし、自ら考え行動できる組織をつくるためには、関係の質を高めると同時に、会社としての“軸”や“目的”を明確にし、伝えることが経営者の仕事です」というお話もさせていただきました。

「我々は何のためにこの事業をしているのか?」「社会にどう貢献していくのか?」が明確になれば、仕事は社員様にとって、単なるお金儲けになってしまいます。また「俺は社員にそれを伝えている」と言われる方も中にはいらっしゃいますが、実際には社員様に伝わっていないということがよくあります。なぜ、会社の軸や目的が伝わるのが重要かと言えば、それが社員様に伝われば、日々の仕事の中で「どうしたらいいのか?」を社員様自身で考えることができるからです。つついやり方や正解ばかりを教え、指示してしまいがちですが、軸さえ明確であれば、やり方は社員様で考えることができます。もちろん忍耐が必要なシーンがありますが、社員様が自ら考え、力を発揮できる会社にするためには必要なステップなのです。



☆セミナーで使用した、ご自身の社員様の理解度がわかる「部下理解シート」(本書92ページ記載)をプレゼントいたします。
ご希望の方は下記項目をご入力の上、FAX (06-6203-2255)にてご返送ください。

会社名： _____ お役職： _____ お名前： _____

「部下理解シート」送付先メールアドレス※PDFファイルでお送りいたします：

【お問い合わせ】 株式会社ソリューション TEL:06-6203-0222 FAX:06-6203-2255